

生物部 東京都理科研究発表会（生物部門）で最優秀賞を受賞！

研究テーマ「高尾山におけるムササビの分布と環境要因」

11月23日（火）東京富士大学において、東京都理科研究発表会(兼2022年総合文化祭京都大会予選)が開催されました。本校からは生物部の松本敬君と栗原萌花さんが審査員の先生の前でポスター発表を行い、講評やアドバイスを受けました。結果は東京都理科研究発表会生物部門で最優秀賞、自然科学研究部門で優秀賞を取ることができました。2022年の総合文化祭は8月に東京で開催されますが、さらなる野外調査でデータの積み重ねをしていくつもりです。

生物部では、ムササビ分布研究班を中心に、高尾山全山でムササビの生息確認を12年かけて調査し、生息域の8割以上がモミ・シキミ群集であり、また高木との関係が重要であることを突き止めました。生息確認を正確に地図にプロットするために、オリエンテーリングの読図技術を活かす練習を続けてきたことも研究に繋がっています。



ポスターの前で（審査前）



審査員の先生の前で発表する



立派な盾と表彰状をいただきました